

身延線鉄道唱歌 写真募集

- 1 募集目的 身延線鉄道唱歌に登場する風景等の写真・動画
- 2 募集目的 写真・動画をつなぎ、合唱と歌詞をのせた動画を作成し身延線及び沿線の振興に生かす。
- 3 募集期限 平成28年9月末日
- 4 写真形式 動画作成上、画像ファイルのメール送信を歓迎。
携帯・スマホ写真でもOK。写真プリント送付の方には、会でスキャン後、返送する。
- 5 送付先 メールアドレス: ooiwa39@gmail.com
郵送: 〒418-0013 富士宮市大岩 583-5 身延線鉄道唱歌の会宛
- 6 留意事項 1) 歌詞のどの部分の写真かを明記する。
2) 動画に採用された場合は、謝礼を送るので、送付者の住所氏名を明記する。
- 7 写真扱い 送られた写真は、歌詞に即して整理し、撮影者の了解を得て「身延線鉄道唱歌の会」ホームページで紹介する。著作権は撮影者本人。動画に採用の場合は、動画のクレジット部分に撮影者氏名を入れる。
- 8 参考 1) 作詞者の小澤肇氏は、南部町出身、富士市在住の91歳。山梨県自分史大賞を受賞したり、防衛業務推進の功績により藍綬褒章を受章したりしている。
2) 本事業は、平成28年度富士宮市NPO等市民活動等促進事業に採択されている。
3) ホームページには、会の組織、歌詞推敲経緯、ボーカロイド(人造音声)による歌唱と、ダミー写真による動画等も掲載されている。
4) 平成29年1月29日(日)午前10時より富士宮駅前交流センター(きらら)で、富士宮女声合唱団による唱歌の合唱と完成した動画のお披露目を行う。詳細は、会のホームページに。「身延線鉄道唱歌の会」で検索。
- 9 問い合わせ 送付先に同じ。電話番号 080-7012-6024

【身延線鉄道唱歌】

作詞 小澤 肇

推敲協力 身延線鉄道唱歌の会 作曲 多梅稚

- 一 汽笛一声富士駅を我が乗る列車 離れたり 三十九駅 九十軒 普通列車の旅とせん
- 二 柚木堅堀入山瀬 近代製紙のおきたとこ 三大仇討ち一つなる 曾我兄弟の寺社もあり
- 三 右に霊峰仰ぎつつ富士根にたなびく雲の帯 富士宮は登山口浅間大社に湧き水に
- 四 西富士過されば左に見える 安居山あたりの海の砂 川もないのに沼久保で しばらく富士山さようなら
- 五 三天急流富士川に沿って行きます芝川 筒梅の産地なり 水やみどりに富める町
- 六 戦国武将信長公 首塚西山本門寺 平家の若武者維盛の お墓が稲子の奥にあり
- 七 稲子で駿河を後にして 甲州十島良いところ 昔は身延路御番所 今も電車自動車
- 八 井出では寄畑内船へ 南部の火祭り空焦がす 奥州南部の祖の地なり 威風は今に伝えらる
- 九 身延の駅に降り立ちて 日蓮宗の絵本山 五重塔の再建に 枝垂桜木花添える
- 十 信玄公の隠し湯の 下部で疲れ癒されん 湯の奥甲州金山は 武田氏支えた車資金
- 十一 全国各地に木像を 遣せし木喰上人の生まれは 一ノ瀬微笑館 山の上でも人絶えず
- 十二 つづけて久那土甲斐岩間 印章で名高き里にして 向いの西島和紙づくり 書家の望み 叶う町
- 十三 視界が開けて 鰍沢 舟運の名残り今は無く 敷かれし鉄路に掘るところ 甲駿交流夜明けなり
- 十四 市川大門は花火まち 知恵の文殊は甲斐上野 團十郎の出たところ ゆめゆめ共々忘れなん
- 十五 笛吹川を打ち渡り 見よや果樹やら野菜やら 果樹王国と謳われる 甲府盆地の花輪なる
- 十六 四方の山に目をやれば 雲突く山脈いや高く 老樹の深き善光寺 石和の湯けむり指呼の間
- 十七 終点甲府は 中央線 乗り継ぐ人も数多く 躑躅ヶ崎の夢のあと 武田の遺跡守れかし
- 一八 時は人を替えれども 山梨静岡両県の 明るく平和な郷づくり 身延線と共に栄えあれ

身延線と共に栄えあれ



身延線
鉄道唱歌の会
ホームページ



←推定 20 歳女声ボーカロイドの歌う身延線鉄道唱歌をお聞きください。
歌詞は部分修正されることがあります。